Ľ	ìスペースリモートI/O変換器 <i>R80 シリース</i>	ζ.
取扱説明書	CC-Link IE TSN 用	形 式
(操作用)	電源通信ユニット	R80NCIT1



ご使り	用い	, \ ;	た	だ	<	前	Ī			•	••	•	••	•	• •	••	•		•	••	•	•••	•	• •	• •	•	•••	•	•••	•	•••	•	••	• •	•	• •	•	••	•••	•	•••	• •	••	••	••	•	••	•	••	••	••	2
ご注対	意	事」	頁·	•	•••	• •	•	•	••	•	•••	•	•••	•	• •	••	•	••	•	•••	•	•••	•	• •	••	• •	•••	•	•••	•	•••	•	•••	• •	•	•••	•	••	• •	•	••	• •	· •	•••	••	•	•••	•	••	•••	• •	2
取付	方	法・	••	•	•••	••	•	•	••	•	•••	•	•••	•	• •	••	•	••	•	•••	•	••	•	• •	• •	• •	•••	•	•••	•	•••	•	••	• •	•	•••	•	••	•••	•	••	• •	· •	•••	•••	•	• •	•	••	•••	• •	2
各部の	のこ	名利	沵·	•	••	••	•	•	••	•	•••	•	•••	•	• •	••	•	••	•	•••	•	••	•	• •	••	• •	•••	•	•••	•	•••	•	••	• •	•	•••	•	••	•••	•	••	• •	· •	•••	•••	•	• •	•	••	•••	• •	3
接	続·		••	•	••	••	•	•	••	•	•••	•	•••	•	• •	••	•	••	•	•••	•	••	•	• •	• •	• •	•••	•	•••	•	•••	•	••	• •	•	•••	•	••	•••	•	••	• •	· •	•••	•••	•	• •	•	••	•••	• •	5
配約	線·		••	•	••	••	•	•	••	•	•••	•	•••	•	• •	••	•	••	•	•••	•	••	•	• •	• •	• •	•••	•	•••	•	•••	•	••	• •	•	•••	•	••	•••	•	••	• •	· •	•••	•••	•	• •	•	••	•••	• •	6
デー	9 P	۲.	置·	•	••	••	•	•	••	•	•••	•	•••	•	• •	••	•	••	•	•••	•	••	•	• •	• •	• •	•••	•	•••	•	•••	•	••	• •	•	•••	•	••	•••	•	••	• •	· •	•••	•••	•	• •	•	••	•••	• •	7
入出	力 .	デ・	- :	タ	••	••	•	•	••	•	•••	•	•••	•	• •	••	•	••	•	•••	•	••	•	• •	••	• •	•••	•	•••	•	•••	•	••	• •	•	•••	•	••	•••	•	••	• •	· •	•••	•••	•	• •	•	••	•••	• •	8
設定	手	順·	••	•	••	••	•	•	••	•	•••	•	•••	•	• •	••	•	••	•	•••	•	•••	•	• •	• •	• •	•••	•	•••	•	•••	•	••	• •	•	•••	•	••	•••	•	••	• •	· •	•••	•••	•	• •	•	••	•••	• •	9
保	ĩĿ	•••	•••	•	•••	• •	•	•		•	•••	•	•••	•	• •	••	•	••	•	•••	•	••	•	• •	••	• •	•••	•	•••	•	•••	•	••	• •	•	•••	•	••		•	••	• •	••	•••	•••	•	• •	•	••	••	· 1	5

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にあ りがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記 事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

•	電源通信ユニット1	台
	エンドカバー1	台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック 表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書では、本器の取扱い方法、外部結線およ び設定方法について詳細に説明します。

■CSP+ファイル

CSP+ファイルは弊社のホームページまたは CC-Link 協会ホームページ https://www.cc-link.org よりダウン ロードが可能です。

ご注意事項

●EU 指令適合品としてご使用の場合

- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず導電性の 制御盤内に設置して下さい。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させる ために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接 続される他の機器との関係、配線等により変化するこ とがあります。従って、お客様にて装置全体でCEマー キングへの適合を確認していただく必要があります。

●供給電源

- ・許容電圧範囲、消費電力
 - スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
 - 直流電源:定格電圧 24 V DC の場合
 - 24 V DC ± 10 %、約 12 W (内部電源最大電 流 1.6 A 時)
 - フィールド用電源(入出力カード用フィールド電源): 24 V DC ± 10 %、許容電流 10 A

(供給電源・フィールド用電源用コネクタから内部通 信バスコネクタを経由して、各入出力カードに供給し ます。フィールド用電源の消費電流が許容電流以下に なるようにして下さい)

- ●取扱いについて
- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため
 必ず、電源を遮断して下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょ う体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避 けて下さい。

・周囲温度が -10 ~ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源(リレー駆動線、高周波ライン など)の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダ クト内に収納することは避けて下さい。

●その他

 ・本器は電源投入と同時に動作します。ただし、アナロ グカードについては性能を満足するために、アナログ 回路のウォームアップ時間10分の通電が必要です。

取付方法

R80 シリーズは、内部電源の供給と内部通信を各カードのコネクタを介して行っているため、ベースは必要ありません。各カードは、コネクタを介して内部電源の供給と内部通信を行っているため、電源を入れたままでの交換をすることはできません。

付属のエンドカバーは、接続した一番右端の入出力 カードに装着して下さい。機器の基本構成は R80 シリー ズ共通仕様書をご参照下さい。

■取付方法 ●電源通信ユニット



・上側のツメをDINレールに引っ掛け、下部を押して固定します。 外す場合は、下側のスライダを押し下げてロックを解除します。

各部の名称



■状態表示ランプ

項目	ランプ名	表示色	内容	状 態	意味
状態表示	RUN	緑色	動作状態	点灯	正常動作中
				消灯	機器エラー発生中
	RD	緑色	データ受信	点灯	データ受信中
				消灯	データ未受信
	SD	緑色	データ送信	点灯	データ送信中
				消灯	データ未送信
	D LINK	緑色	データリンク伝送状態	点灯	データリンク中(サイクリック伝送中)
				点滅	データリンク中(サイクリック伝送停止中)*1
				消灯	データリンク未実施、解列中
	ERR	赤色	エラー状態	点灯	重度エラー発生中*2
				点滅	軽度エラー発生中*3
				消灯	正常動作中
CN1	LINK	緑色	CN1 リンク状態	点灯	リンクアップ中
				消灯	リンクダウン中
	L ER	赤色	CN1 受信データ	点灯	受信データ異常
				消灯	受信データ正常
CN2	LINK	緑色	CN2 リンク状態	点灯	リンクアップ中
				消灯	リンクダウン中
	L ER	赤色	CN2 受信データ	点灯	受信データ異常
				消灯	受信データ正常

*1、予約局に設定中、リンク停止中など。

*2、上位通信異常、内部バス通信異常など。

*3、不揮発性メモリ異常、電源起動後に局番設定用ロータリスイッチが変更された。

■IP アドレス/局番設定用ロータリスイッチの設定

IPアドレスの第4オクテッドおよび局番は、2つのロータリスイッチで設定します。

設定は 16 進数となり、上位桁を上側のロータリスイッチで、下位桁を下側のロータリスイッチで設定します。

(設定可能範囲:1~254)

IP アドレス/局番設定用ロータリスイッチの設定は、本器の電源投入時に有効になるので、電源 OFF 時に設定して下 さい。

実際のご使用に当たって設定可能な局番は、マスタユニットの取扱説明書にてご確認下さい。

(工場出荷時設定:01H)

IP アドレスの第1オクテット~第3オクテットは、マスタ局の IP アドレスの第1オクテット~第3オクテットで動作 します。



<局番設定例>

IP アドレス/局番設定用ロータリスイッチは 16 進数で設定します。 例えば局番 175(10 進数)に設定したい場合は、局番上位設定:A、局番下位桁設定:F に合わせます。

■供給電源・フィールド用電源の配線

本体側コネクタ: MSTBV2,5/5-GF-5,08AU (フエニックス・コンタクト製) ケーブル側コネクタ: TFKC2,5/5-STF-5,08AU (フエニックス・コンタクト製)

	端子 番号	信号名	機能
	1	24V	供給電源 24V
	2	0V	供給電源 OV
<u> 0</u> 5	3	+	フィールド用電源 24V
O	4	-	フィールド用電源 OV
	5	FE1	供給電源接地

コンフィギュレータソフトウェア設定

コンフィギュレータを用いることにより、下記の設定が可能です。 コンフィギュレータソフトウェア(形式:R80CFG)の使用方法については、R80CFGの取扱説明書をご参照下さい。

■チャネルー括設定

項目	設定範囲	初期値
I/O カード枚数	1~16(枚)	16(枚)

接続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位:mm)

■本体



5



■エンドカバー



端子接続図

EMC(電磁両立性)性能維持のため、FE1 端子を接地して下さい。

注) FE1 端子は保護接地端子(Protective Conductor Terminal)ではありません。



CC-Link IE TSN 通信用 RJ-45 モジュラジャックのCN1とCN2は、配線の接続順序に制約はありません。

配 線

■コネクタ形スプリング式端子台(供給電源・フィールド用電源) 適 用 電 線:0.2 ~ 2.5 mm² 剥 離 長:10 mm 推奨圧着端子: AI0,25-10YE 0.25 mm² (フエニックス・コンタクト製) AI0,34-10TQ 0.34 mm² (フエニックス・コンタクト製) AI0,5-10WH 0.5 mm² (フエニックス・コンタクト製) AI0,75-10GY 0.75 mm² (フエニックス・コンタクト製) AI1,5-10BK 1.5 mm² (フエニックス・コンタクト製) AI1,5-10BK 1.5 mm² (フエニックス・コンタクト製) AI2,5-10BU 2.5 mm² (フエニックス・コンタクト製)

データ配置

本器は構成される入出力カードの種別を認識し、設定されたカードアドレス順に自動的に入出力データを割り付けます。 ただし、入出力データの割り付けは本器の電源投入時のみ行われますので、入出力カードの構成を変更した場合は、電 源の再投入を行って下さい。

接続できる入出力カードの台数は最大で16台(1ノード当たりの最大占有局数は64)です。

局タイプ:リモート局

リンクデバイス:RX/RY 128 点、RWw/RWr 64 点

例えば、以下のような構成の場合、入出力データは下図のように割り付けられます。

カードアドレス	形式	占有局数
0	R80DAT16A2	1
1	R80DCT16A2	1
2	R80FST4NJ	4
3	R80UST4	4
4	R80YST4N	4

本器からマスタ機器に送信するデータを示します。

■入力データ

■出力データ

マスタ機器から本器が受信するデータを示します。



■ステータスデータ



① RX (n + 0) B は Ready 信号とし、本器が正常状態で"1"となります。 Ready 信号 0 のとき、現状の入力データ、ステータスはまだ正しく反映されていません。 Ready 信号 1 のとき、入力データ、ステータスは確定された有効なデータです。

②カード情報

RX (n + 1) 0 ~ RX (n + 1) F に R80 シリーズの各カードの実装(有無)状態を示します。 カードが実装されている場合、対応するビットが"1"、未実装の場合、"0"となります。

③異常情報

RX (n + 2) 0 ~ RX (n + 2) F に、R80 シリーズの各カードの異常を示します。 下記の状態が発生した場合、対応するビットが"1"となります。 ・R80UST4、R80FST4NJの入力回路異常時(AD コンバータ未応答)

・R80YST4N の出力回路異常時(DA コンバータ未応答)

④データ異常情報

RX (n + 3) 0 ~ RX (n + 3) F に、R80 シリーズの各カードのデータ異常を示します。 下記の状態が発生した場合、対応するビットが"1"となります。

- ・R80US4Tのバーンアウト検出時または入力値異常時
- (-15%以下 +115%以上または測定範囲の下限値以下、上限値以上)
- ・R80FST4NJの入力値異常時(測定範囲の下限値以下、上限値以上)
- ・R80YS4Tの出力値異常時(設定範囲の下限値以下、上限値以上)

RX(n+1)0	RX(n+2)0	RX(n+3)0	R80 シリーズアドレス 0
RX(n+1)1	RX(n+2)1	RX(n + 3)1	R80 シリーズアドレス1
$RX\left(n+1\right) 2\text{,}$	RX(n+2)2	RX(n+3)2	R80 シリーズアドレス 2
	:		:
RX(n+1)F	RX(n+2)F	RX(n+3)F	R80 シリーズアドレス F

入出力データ

■入力カードとの通信異常時の動作

入力カードに異常が発生し、通信ができない場合には最終値を保持し、入力カードとの通信ができるまで更新されません。

■カード情報、異常情報、データ異常情報



各カードアドレスの入出力カードの有無および異常を示します。

■アナログ(16 ビット、パーセント値)データ(形式:R80UST4、R80FST4NJ など)

15							0

16 ビットのバイナリデータ

基本的に、各カードで設定されている入出力レンジの 0 ~ 100 % を 0 ~ 10000 のバイナリ(2 進数)で示します。 負の値は 2 の補数で示します。

■アナログ(16 ビット、温度)データ(形式:R80UST4 など)



16 ビットのバイナリデータ

基本的に、温度単位が摂氏(℃)の場合には10倍した整数部を示します。例えば、25.5℃の場合は"255"がデータとなります。また、温度単位が華氏(℉)の場合には整数部がそのままデータとなります。例えば、135.4 ℉の場合は"135"がデータとなります。

負の値は2の補数で示します。

■16 点用接点データ(形式: R80DAT16A2、R80DCT16A2 など)



0 : OFF 1 : ON

設定手順

ここでは、三菱電機製エンジニアリングソフトウェア GX Works3 を使用することを前提に、本器の設定手順を示します。

1. プロファイルを登録する

本器は、CC-Link ファミリーシステムプロファイル(CSP+)をサポートしています。 CSP+ファイルは弊社のホームページまたは CC-Link 協会ホームページ https://www.cc-link.org よりダウンロードして ご利用いただけます。

注) CSP+の登録は必須ではありません。登録しない場合は本項を飛ばして、「2. システムを構築する」からはじめて下さい。

① GX Works3 を起動します。

靖 GX Works3

②メニューの[ツール]→[プロファイル管理]→[登録]をクリックします。



③ダウンロードしたファイルを選択し [登録] をクリックすると、登録が完了します。



2. システムを構築する

下図の構成でライン接続する場合を例に説明します。



①マスタ局、ローカル局、リモート局(本器)、リモート局を Ethernet ケーブルで接続します。このとき、各機器の電源は OFF の状態で作業して下さい。CC-Link IE TSN 通信用 RJ-45 モジュラジャックの CN1 と CN2 は、配線の接続順序に制約はありません。

②配線がすべて完了した後、各機器の電源を ON にします。

3. プロジェクトを作成する

マスタ局と PC を接続し、あらかじめ PC にインストールされたエンジニアリングソフトウェア GX Works3 でマスタ局 のプロジェクトを作成します。

①エンジニアリングソフトウェア GX Works3 を起動します。

②メニューの[プロジェクト]→[新規作成]を選択し、プロジェクトを新規作成します。

	\subset	選択		
プロ	ジェクト(P)	編集(E)	検索/置換(F)	100
ľ	新規作成(N)		Ctrl+N	
1	開く(0)		Ctrl+0	
	閉じる(C)			

③シーケンサのシリーズ、機種、プログラム言語を選択し[OK]をクリックします。

新規作成	×
シリーズ(S)	🐗 RCPU 🔻
機種(<u>T</u>)	R04EN 👻
プログラム言語(<u>G</u>)	● ラネ クリック ● ラネ クリック ● マンセル

④次の画面で[ユニットラベル:使用しない]となっている場合は、[設定変更]をクリックしてオプション画面を表示させ、 使用するに変更します。

MELSOFT	GX Works3	
i	ユニットを追加します。 【ユニット形名】RO4ENCPU 【先頭I/O Na.】3E00	71.77
בב	ットの設定	設定変更
22	ニットラベル:使用しない	*
		Ŧ
<u></u> μβ	≩、このダイアログを表示しない(D)	ОК

[動作設定]-[ユニットラベルを使用する]の項目を[はい]に変更して[OK]をクリックします。

オプション		—
10ジェクト	[動作設定	
デバイスコメント参照/反映先	ユニットラベルを使用する	はい・
ユニットラベル ナビゲーション	ロ メッセーン ユニット追加時に確認メッセージを表示する	はい ・
 2 プログラムエディタ 3 その他のエディタ 3 編集 4 検索/置換 		
<u></u> 殿モニタ 型オンライン 国変換	マーットニペッカは田ナマ	
☆ るま なインテリジェント機能ユニット IQ Works連携	ユニットラベルを使用する ユニットを追加にした時に、ユニットラベルを追加す	るかどうかを選択します。
	(クリック ンポー (1) エクスポート(E)
デフォルトへ戻す(D) 既定値へ戻す(B) 既定値に設定(S)	ОК キャンセル

⑤ナビゲーションウィンドウの[ユニット構成図]をダブルクリックしてユニット構成図画面を開きます。 実際のシーケンサ構成通りに部品選択ウィンドウの部品一覧から機器を選択し、ユニット構成図にドラッグ&ドロップします。

📴 MELSOFT GX Works3 (プロジェク)	ヽ未設定) - [ユニット構成図]					-	
: プロジェクト(P) 編集(E) 検索/置担	奂(F) 変換(C) 表示(V) オン:	ライン(O) デバッグ(B) 診断(D)	ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)			_ 8 ×
i 🗅 🖻 💾 🎒 🖉 🗸		🖼 🖛 🚝 👧 👧 🔜 🐘 🐘	P 🗳 🔗 🔜 🔜 🛃 🕀 🔾 10	0% 🗸 🔤 🔤 🥥	⊘ 最大: ▼		× .
1 8 8 8 M R 8- 9		-					
·▲ ¶ Ø / □ ○ ■ 박 .							
ナビゲーション 🖡 ×	副コニット構成図 ×			4 ۵ 🗸	部品選択		ų ×
				A	(部品検索)	(48) (48)	lg≁ l x
宿 プロジェクト					☆ 🖮 X 🕮•		
			(ドラック&ドロ	<u>سمر</u> د	表示対象・ 全て		•
FB/FUN					iQ-Rシリーズ		<u> </u>
🗉 🌆 ラベル			V		基本ベース		
■ 🕌 デバイス					RQ増設ベース		
■ 🛃 パラメータ					シーケンサCPU		-
					部品一覧 お気に入り 履歴	ユニット ライブラ	U
					構成詳細情報入力		ąх
					構成詳細情報がありません。		
		m		•	● 検索と置換 □2 構成詳細情	服入力	
	# h						Лх
	プロファイルのバージョンチェ	ック Kerror:0 A Warning:0					
	No. 結果 説明						
🎒 接続先 🏪 ナビゲーション	■出力 === 進捗						
			R04EN	自局			CAP NUM

⑥ CC-Link IE TSN通信ユニットをダブルクリックし、パラメータ設定画面を表示させます。

	ユニット構成図 * ×
	POW
局番	
·····	

⑦[必須設定]の[局種別]にマスタ局、[ネットワークNo.]に1を設定します。

🔟 ユニット構成図 🦷 0000:RJ71GN11-T	2 בבא <u>א איי</u>		4 ▷ 🗕
設定項目一覧	設定項目		
	TE TE	記令	
検系9つ設定項目をここにハノ」	🗆 局權別說定		
	局種別	マスタ局	
	□ ネットワークNo設定		
■ 📑 必須設定	ネットワークNo.	1	
● ● 基本設定 ● ● 応用設定	 → 基本設定/応用設定の設定方法 □ 局番/IPアドレス設定 	パラメータで設定	
	局番/IPアドレス設定方法	パラメータで設定	-
	記印月		
	局種別を設定します。		*
			-
項目一覧検索結果	チェック(K) デ	フォルト(こ戻す(U)	
			適用(A)

⑧ [ネットワーク構成設定] の<詳細設定>を押して [CC IE TSN 構成] ウィンドウを表示させます。

III ユニット構成図 🦷 😫 0000:RJ71GN11-	¹² בבשל ×	۹ ۵ 🗕
設定項目一覧	設定項目	
検索する設定項目をここに入力	「酒日 □ オッドワーク構成設定 ネッドワーク構成設定	<u>また</u> 会会 〈詳細設定〉
		く詳細設定> ライン接続、スター接続、またはスター接続とライン接続の混在
● ホットワージ(時の)またに	1	
	ネットワーク構成を設定します。	*
項目一覧検索結果	チェック(<u>K</u>) デフォルトに厚	₹3(Ū)
		適用(<u>A</u>)

実際のシステム構成通りに各構成ウィンドウのユニット一覧から機器を選択し、機器構成図にドラッグ&ドロップします。 メニューの「設定を反映して閉じる」をクリックします。

注)本器の CSP+を登録していない場合、「汎用 CC-Link IE TSN ユニットー汎用リモート局」を選択して下さい。

B o	鼎 CC-Link IE TSN構成 (先頭I/O:000)						
i co	-Link IE TS	N構成(I) 編集(E) 表示	(V) 影	定を破棄して閉じる(M	設定を反映して閉じる(R)		
	接続/1	切断した機器の検出		詳細表示			ユニット一覧 ×
	モード設定:	オンライン(ユニキャストモー	۲) ·	割付方法(<u>A</u>):			CC-Link IE TSN選択 ユニット検索 お気に 4 🕨
	台数	形名	局番	局種別	RX設定 クリック	7 Mw設定 (一タ自動)	
	11 0	自局	0	マスタ局	ANARA ANARA		田 汎用CC-Link 正 TSNユニット FICC-Link 正 TSN機器(三菱電機)
	1	R80NCIT1	1	リモート局	128 128	64 64	田 マスタ・ローカルユニット
							田 モーションユニット 田 GOT2000シリーズ
							田 汎用ACサーボ
	1				(ドラッグ&ドロッ)	7	田 汎用インバータ 田 DC入力
-							国トランジスタ出力
		局番1					田 人出力混合 田 アナログ入力
白日							田 アナログ出力
							■ CC-Link IE TSN儒器(エム・システム技研) ■ R30NCIT1通信ユニット
局	垂0 マスタ局				K		□ R80NCIT1通信ユニット
総 う1	副数:1 ン/スター					L	RBONCIT1
		R80NCIT1					【メーガ名】 エム・システム技研
							【局種別】
		< III.				Þ	リモート同
: 出力	,						×
1							



⑨ [リンクリフレッシュ設定] の<詳細設定>を押して [リンクリフレッシュ設定] ウィンドウを表示させます。

🔛 ユニット構成図 🛛 🤮 0000:_RJ718	EN71(CCIEF) ユ ×		4 ۵ –
設定項目一覧	設定項目		
検索する設定項目をここに入力	項目 - オットワーク構成設定 - シットローク構成設定		
□ 世 田 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	 リンクリフレッシュ設定 リンクリフレッシュ設定 	〈詳細設定〉	
□	 伝送路形式設定 マスタ局復列時動作設定 	ライン接続、スター接続、またはスター接続とライン接続の混在	
 □ 【広达路形式設定 □ マスタ局復列時動作設定 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	→ マ人ダ海川夏外町寺朝川午設定	マスダ軟化に向として1度がする	
	説明 ネットワーク構成を設定します。		^ ~
項目一覧検索結果	チェック(K)	デフォルト(こ戻す(U)	
		適用(A)	

リンクデバイス RX/RY/RWw/RWr を CPU ユニットに割り付け、[適用] をクリックして閉じます。

🏢 ユニット構成図 🛛 📳 0000:_F	U71EN71	l(CCIEF) 그	×								4 ۵	•
設定項目一覧	設定項目	3										
検索する設定項目をここに入力												
	No		リンク信	J				CPU	(BI)			
● ● 必須設定	NO.	デバイス名	機点	先頭	最終		リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭	最終	
□	-	SB •	√ 512	00000	001FF	_ 	ユニットラベル 🚽					
- ⊘ ネットワーク構成設定	1	RX •	• 128	00000	0007F	÷.	指定デバイス 🗸	X 🗸	128	00100	0017F	
伝送路形式設定	2	RY •	 128 	00000	0007F	-	指定デバイス 🗸	Υ 🗸	128	00100	0017F	
マスタ局復列時動作設定	3	RWr •	• 64	00000	0003F		指定デバイス 🗸	D 💌	64	0	63	
▶□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	4	RWw	• 64	00000	0003F	•	指定デバイス	D 🗸	64	100	163	
	6		•				•					
	記明	ロオるい、カデ	עמ/ בענו	ov/out/	ロルルン大目	<u>생승</u>] # 7	+					
	97799	19002001		317 139977	r	NEU& S	70					^
									(71	1.11/2	7
4									``	\leq	1	/
項目一覧検索結果		チェック(K)		5	「フォルトに	:戻す(U)				V		
										適用(A)	1
1										20110	~	

⑩メニュー [変換] → [変換] を実行します。

	選掛	5	
変換	(C) 表示(V) オ	ンライン(0)	デバッ
P	変換(B)		F4
-	変換+RUN中書込	ふ(O) Shift	+F4
F	全変換(R)	Shift+Alt	+F4
	プログラムファイ	′ル設定(P)	
	設定(S)		

⑪メニュー [オンライン] → [シーケンサへの書込み] を選択し、オンラインデータ操作ウィンドウを表示させます。

オン	ライン(0) デバッ <i>H(</i> L) 診断(D)
	現在の接続、選択	
	シーケンサからのごまし(R)	
-	シーケンサへの書込み(W)	
	シーケンサとの照合(V)	
	リモート操作(S)	
	安全シーケンサ操作(F)	•
	CPUメモリ操作(O)	
	シーケンサのデータ削除(D)	
	ユーザデータ(E)	•
	時計設定(C)	
	モニタ(M)	•
	ウォッチ(T)	•
	ユーザ認証(U)	•
	実機のユニット構成読出し(A)	

必要項目にチェックを入れ、[実行]をクリックします。

オンラインデータ操作							
表示(<u>D</u>) 設定(<u>S</u>) 関連機能	£(<u>U</u>)						
二 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	🖳 ((🏢	読出し	ļ ,	照合 📃), 🥎 🎹 AUBA	it.	
パラメータ+プログラム(E) ツリーの全開閉(<u>T</u>)	全選択(<u>A</u>) 全解除(<u>N</u>)	凡例 ◆ CPU内蔵	メモリ	■ SDメモリカー	< 🚮 インテリジ	コント機能ユニット	
ユニット形名/データ名		*		🛅 I¥#B	見出し文	更新日時	サイズ(バイト)
R04ENCPU_CCI	EF_TEST						
🗉 🔂 パラメータ							
◎ 🏦 グローバルラベル	ll.						
● 🏦 グローバルラベル	ル初期値						
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	切期値			[∃¥¢m			
● ● ブロクラム				8770			
0 3 771X20	!						
● ♀ 共通デバイスコ	メント						
メモリ容量表示(し)	*						
メモリ容量 サイズ計算(1)	プログラムメモリ ――						空き容量 158/160KB
凡例	データメモリ						
- 使用済み容量							1831/2049KB
■ 増加容量	デバイス/ラベルメモリ(ファ	イル格納領域)					空き空量
減少容量							(クリック) ^B
残容量5%以下	SDメモリカード						
							И 0/0КВ
							実行(E)開じる

保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、 万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出 荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返 送いただければ交換品を発送します。